

海外安全対策情報（ドバイ及び北部首長国：在ドバイ総：2015年第3四半期（7月～9月）分）

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

(1) 一般犯罪

- 今期間中は2つのイード休暇を有したことから、留守中の侵入窃盗に対する注意喚起がしばしば報じられた。ドバイ警察は、ドバイ首長国における2014年中の侵入窃盗の発生件数が333件であり、2013年の321件と比して増加したことを公表した。また、オンライン詐欺などネットを利用して金品を騙取する犯罪の報道が目立った。
- シャルジャ警察は、第3四半期における同首長国内の犯罪発生件数が、昨年同時期と比べ14%減少（3,356件から2,848件に）したことを公表した。

(2) テロ

特記事項なし。

(3) デモ・騒擾等

特記事項なし。

(4) 外交団に対する犯罪

特記事項なし。

(5) 日本人に対する犯罪

9月下旬、デイヤ地区の自宅周辺をランニングしていた女性が、見知らぬアジア系の男から暴行を受ける被害が発生した。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

- フジャイラ首長国（7月13日報道）
アル・ファシル地区で、スリランカ人ハウスマイドが、同僚のフィリピン人ハウスマイドと口論の末、同人を殴打して撲殺した。
- シャルジャ首長国（8月4日報道）
コーヒーショップ内で、パキスタン人の男が、友人の同国籍の男性と口論の末、同人をナイフで刺殺した。
- シャルジャ首長国（8月11日発生）
インダストリアル7地区の労働者用宿舎内で、フィリピン人の男が、同居していたフィリピン人の男性と口論の末、同人を金属製の物で殴打し殺害した。
- ドバイ首長国（8月31日報道）
ジュベル・アリ地区の建設現場で、建設作業員が、自分の所属する会社の倉庫管理人にガソリンをかぶせた後、火をつけて焼死させた。
- ドバイ首長国（8月下旬発生）
ムラカバット地区で、アラブ国籍の男2名が、怨恨理由で中国人の男性を刃物で刺殺した。
- ドバイ首長国（9月2日発生）
JBR地区を走行するバス内で、エリトリア人のメイドが、自分の恥ずかしい写真をソーシャルメディア上で公表したことへの復讐として、エチオピア人のメイドを刃物で刺殺した。

(2) 傷害致死・集団傷害

- ドバイ首長国（8月2日発生）
マリーナ地区に所在の5つ星ホテルのレストラン内で、婚約者と食事をしていたUAE人の男が、近くの席にいたインド人男性が自分の婚約者を携帯電話のカメラで撮影していると認め

たため、同人に近づいて止めさせようとしたことで同人と口論となり、同人に対し殴るなどの暴行を加えたところ、同人は意識不明となり後に死亡した。

○ ドバイ首長国（9月16日発生）

5つ星ホテルの駐車場で、6人組のグループが、イラク人の男性をナイフやはさみで刺傷した。犯行の動機は、同イラク人の友人に対する怨恨とのこと。

(3) 強姦（未遂）・強制わいせつ

○ ドバイ首長国（7月13日発生）

ラーシディーアの保育園内で、パキスタン人のエアコン作業員が、女子園児2名に対して抱きついたり、身体を触ったりしたとして逮捕された。

○ ドバイ首長国（8月1日発生）

深夜に仕事を終えてタクシー待ちをしていたモロッコ人女性を自宅まで送ると偽って車に乗車させ、自分らのフラットに連れ込んで強姦しようとした男2人（国籍不明）が逮捕された。

(4) その他

○ ドバイ首長国（7月29日報道）

ドバイ警察は、UAE国内70箇所の個人宅等に侵入して現金や宝石類を窃取したとみられる中国人6人組の窃盗団を逮捕した。

3 日本企業の安全に関する諸問題

特記事項なし。